

熊本商工会議所「外国人の雇用又は受け入れに関する緊急調査」を実施

外国人の受け入れ経験がある企業は全体の19.4%
 「日本語能力」に対する不安はあるものの、
 今後受け入れを検討する企業は全体の34.2%

少子高齢化と若年層を中心とする生産年齢人口の県外流出や、熊本地震の復旧・復興需要による労働力不足、そしてグローバル化による海外展開の進展等により、外国人の人材活用が増加傾向にあると言われておりますが、このようななか、熊本商工会議所では会員企業の経営者を対象に標記緊急調査を実施いたしました。以下、調査で得られました主な結果につきまして、速報値として紹介いたします。

■調査概要

- ・調査期間：平成29年6月26日（月）～7月14日（金）
- ・調査対象：従業員10人以上の当所会員企業 1,719件
- ・調査方法：調査票を郵送。郵送、FAX、インターネット上の専用ページからの回答により調査票を回収
- ・回答数：797件（回答率：46.4%）

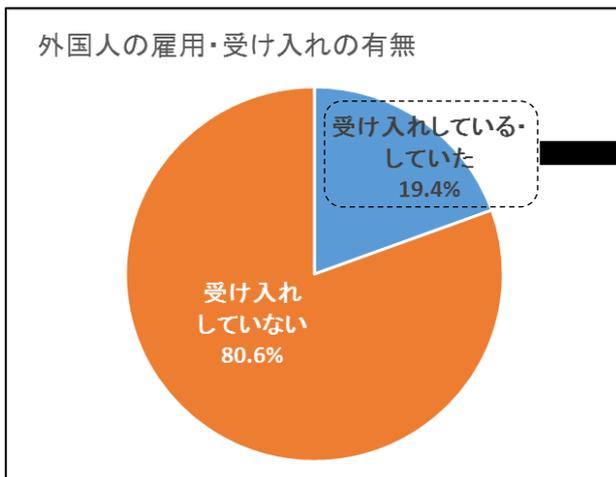
業種

サービス業	229件	28.7%
建設業	188件	23.6%
卸・小売業	179件	22.5%
製造業	90件	11.3%
飲食業	36件	4.5%
金融・保険業	28件	3.5%
運輸業	26件	3.3%
その他	21件	2.6%

従業員規模

20人以下	353件	44.3%
21～50人	231件	29.0%
51～300人	180件	22.6%
300人以上	33件	4.1%

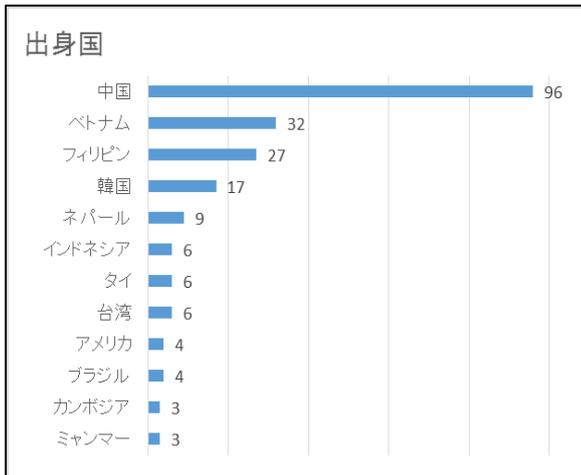
Q. 外国人を雇用又は受け入れの有無（択一回答）



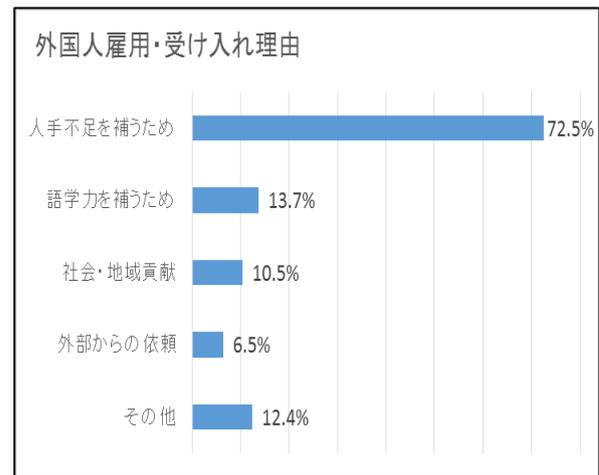
※外国人を受け入れしている・していた企業の割合（業種別）

飲食業	52.8%
その他	33.3%
製造業	27.8%
サービス業	24.8%
卸・小売業	17.9%
建設業	7.4%
運輸業	3.8%
金融・保険業	0%
全業種計	19.4%

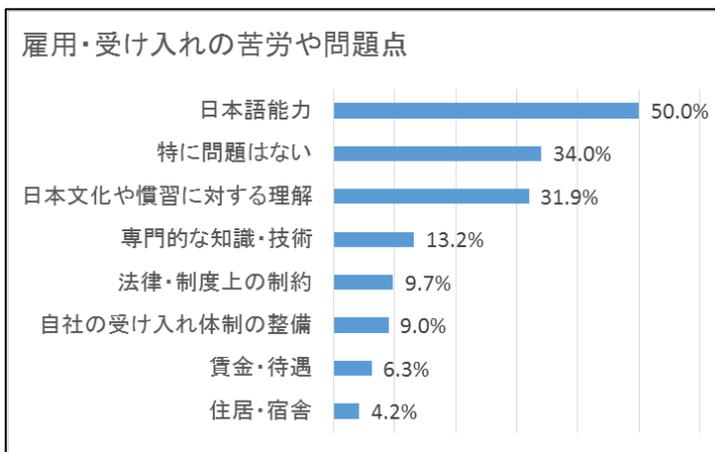
Q. 外国人労働者の出身国（複数回答）単位：人



Q. 外国人労働者を雇用又は受け入れした理由

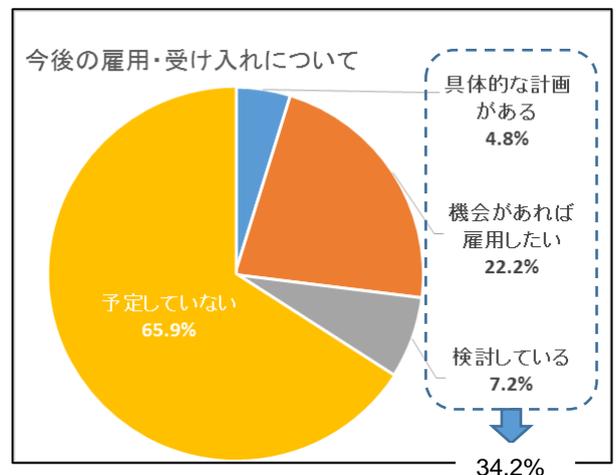


Q. 外国人労働者の雇用又は受け入れの苦勞や問題点（上位2つ選択）



※外国人の雇用又は受け入れをしたことがあると回答した方への設問

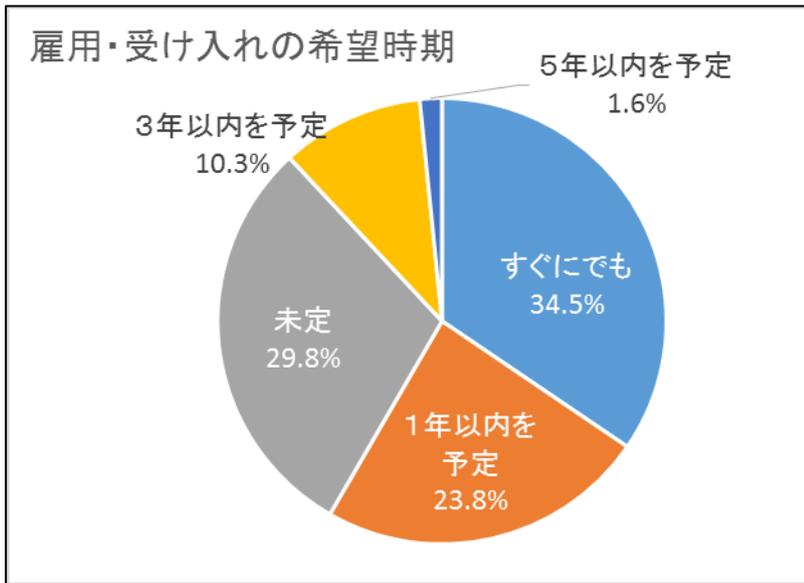
Q. 今後の外国人の雇用又は受け入れについて（択一回答）



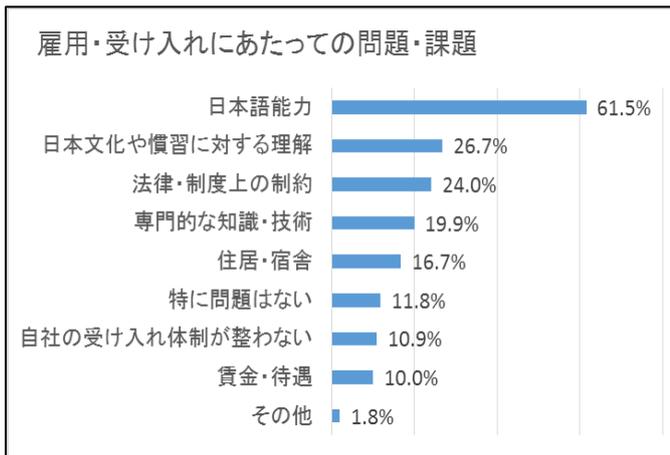
★外国人受け入れの「具体的な計画がある」「機会があれば雇用したい」「検討している」と回答した企業の業種別割合と、「外国人を受け入れている」または「受け入れていた」企業の業種別割合との比較

業種	「具体的な計画がある」「機会があれば雇用したい」「検討している」と回答した割合(A)	「現在外国人を受け入れている」「受け入れていた」と回答した割合(B)	(A) - (B)
飲食業	61.1%	52.7%	8.4
製造業	43.3%	27.8%	15.5
サービス業	40.6%	24.8%	15.8
その他	38.1%	33.3%	4.8
卸・小売業	29.1%	17.9%	11.2
建設業	28.2%	7.4%	20.8
運輸業	19.2%	3.8%	15.4
金融・保険業	0%	0%	0
全業種平均	34.2%	19.4%	14.8

Q. 今後の外国人の雇用又は受け入れの時期について（択一回答）

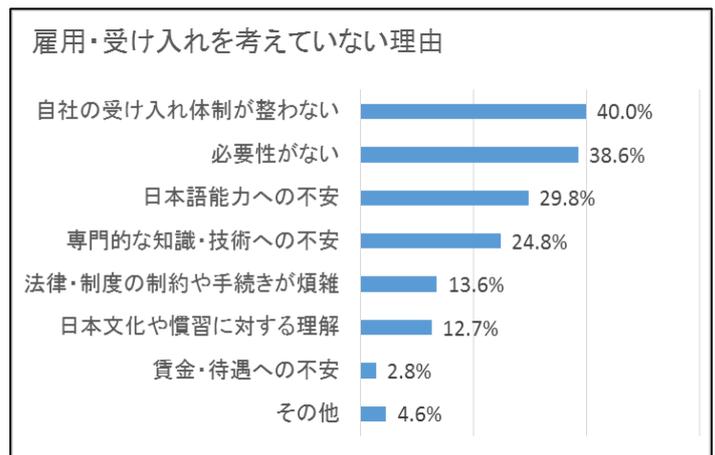


Q. 今後、外国人労働者を雇用又は受け入れるにあたっての問題、課題（上位2つ選択）



※今後、外国人の雇用を「計画している」、「機会があれば雇用したい」、「検討している」と回答した方に対する設問

Q. 外国人労働者の雇用又は受け入れを考えていない理由（上位2つ選択）



※今後、外国人の雇用を予定していない、または、雇用・受け入れ時期は未定と回答した方に対する設問

本調査結果の詳細な分析を行い、後日公表する予定にしております。

【本調査の担当】

熊本商工会議所 国際室 岩瀬・秋吉

TEL. 096-354-6688